



令和7年度 京丹波町人権映画会



被爆しても
ピアノの音色は
変わらなかったのです

入場
無料

申込
不要

(C)2020 映画「被爆ピアノ」製作委員会

おかあさんの 被爆ピアノ

佐野史郎 / 武藤十夢

問い合わせ先 京丹波町 健康福祉部 住民課
☎ 0771-82-3803

- 上映時間：111分（日本語字幕、副音声付）
- 入場無料、事前申込不要

主催：京丹波町・京丹波町教育委員会・
京丹波町人権啓発推進協議会

後援：園部人権啓発活動地域ネットワーク協議会・
京丹波町きらりネットワークの会

日時

8月2日(土)

13:30～(開場 13:00)

場所

山村開発センターみずほ



おかあさんの 被爆ピアノ



(C)2020 映画「被爆ピアノ」製作委員会

Story

昭和20年8月6日に広島で被爆したピアノを持ち主から託された調律師・矢川光則(佐野史郎)。彼自身も被爆二世。爆心地から3キロ以内で被爆したピアノは被爆ピアノと呼ばれる。矢川は、現在数台の被爆ピアノを託され修理、調律して、それを自ら運転する4トントラックに載せて全国を回っている。東京で生まれた江口菜々子(武藤十夢)は大学で幼児教育を学び幼稚園教師を目指しているものの将来について漠然としている。被爆ピアノの一台を母・久美子(森口瑤子)が寄贈していたことを知った菜々子は、被爆ピアノコンサートに行き、矢川と出会う。矢川を通して被爆ピアノ、広島のことを考えるようになり、祖母のことを知るうちに自身のルーツ探しをしていく。母・久美子はどうして広島から出て行ったのか？祖母・千恵子が菜々子に伝えたかったこととは？調律師・矢川がなぜ被爆ピアノを伝える活動をしているのか？
菜々子はルーツを辿り、被爆ピアノの活動を辿りながら次第に何かを見つけていく…。



この映画会は、人権強調月間啓発活動の一環として開催するものです。また、京丹波町民大学講座としても位置づけています。

8月 人権強調月間 みんなで築こう 人権の世紀

人権相談窓口のご案内 ~ひとりで悩まずご相談ください~

差別、いじめ、嫌がらせ等人権に関する問題でお困りの場合は、法務局の人権相談をご利用ください。秘密は厳守します。

【受付時間】午前8時30分~午後5時15分

みんなの人権110番
全国共通ナビダイヤル
0570-003-110

女性の人権ホットライン
全国共通ナビダイヤル
0570-070-810

子どもの人権110番
全国共通フリーダイヤル(通話料無料)
0120-007-110

